



大いちょう

平成28年 8月 29日
さいたま市立高砂小学校

高砂小学校だより 平成28年度 No.5

048 (829) 2737

それぞれの「オリンピックフィールド」

校長 石山 大介

ずいぶん昔のお話です。帝国ホテルという日本を代表するホテルのシェフを務めた方が、料理の勉強のためにフランス留学した際、フランス料理の第一人者に「料理が上手になるにはどうしたらいいでしょうか」と尋ねました。するとその方は、

「まず、料理を作ることが好きになること」「そして、料理を作ることが楽しくなることです」と答えたそうです。

「好き」と「楽しい」で料理が上手くできるようになる。いいお話です。

リオデジャネイロオリンピックでは、多くの日本人選手が大活躍をしました。96年ぶりにその種目でメダルを取ったり、初出場で金メダルを獲得したり。また、絶体絶命のピンチからの逆転勝利だったり。テレビで繰り返し放映されていましたが、何度同じシーンを見ても胸に迫るものがありました。感動しました。

選手たちはきっと、私たちには想像できないような辛く厳しい練習をしてきたのでしょう。でなければ、世界の並みいる強豪たちと互角に戦うことはできません。例えば水泳のある種目では、10kgの錘を体に着けて、長い時間泳ぐ練習をすることもあるそうです。

強くなりたい、勝ちたいという強い気持ちがあるから、辛く厳しい練習に取り組む原動力になります。一方で、勝ち続けることも難しいですし、勝てない時の方が多いのも現実です。それでもなお続けられるのは、「好き」と「楽しい」という気持ちがあるからです。「それをすることが好き」という気持ちや「やっていて楽しい」という気持ちは、勝つことを目標にするのとは少し違う次元のことです。

たとえ負けることがあったとしても、好きで楽しければ続けることができるはずです。もっと上手になるにはどうしたらよいかと研究する気持ちも生まれてくるでしょう。それが成果につながるのです。

有名ホテルのシェフのお話を最初に紹介しましたが、料理でも運動でも芸術でも、人には素晴らしい能力や可能性があります。自分が「好き」と思えることや「楽しい」と感じられることに出会って、少しずつでも上手くなる。高砂小学校の皆さんには、そうやって豊かな未来に向かっていてほしいと思っています。学校には、皆さんが可能性と出会いそれを伸ばすチャンスがたくさんあります。

皆さんの未来には、それぞれが活躍できるそれぞれのオリンピックフィールドがあるのです。

全員の元気な笑顔がそろって、2学期が始められることをとても嬉しく思います。学校全体で取り組む大きな行事がある2学期。一日一日の積み重ねを大切にして、高砂小の皆さんの力を一つに合わせて取り組んでいきましょう。